

より良い教師と児童生徒の交流を促進するための 学級観察システムの開発

(中間報告)

沖縄科学技術大学院大学* チャン チーチン (莊季靜)
琉球大学教育学部 浦 内 桜
琉球大学教育学部 淡 野 将 太

Developing a Classroom Observation System to Promote Better Teacher- Student Interaction (Progress Report)

Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University, CHUANG, Chi-ching
Faculty of Education, University of the Ryukyus, URAUCHI, Sakura
Faculty of Education, University of the Ryukyus, TANNO, Syota

要 約

本研究では、日本の幼稚園における教師－児童生徒の交流を捉えるための観察システムを開発することを目的とする。具体的には、沖縄県の未就学児または幼稚園を対象に観察を行い、専門家による議論とレビューを経て、Japan Adapted Classroom Observation (JACO)の構成要素を完成させる。その後、JACOの妥当性と信頼性を確認する。一般的な授業における教師と児童生徒の交流を測定するための経験的な観察ツールはあるが、日本の教育システムで、観察システムが標準化され、検証されることにより、コンサルテーションモデルの開発となる基礎を提供することが期待される。

【キー・ワード】 教室, 観察, 教師と児童生徒の相互作用

Abstract

The purpose of this study is to develop an observation system to capture teacher-student interactions in Japanese kindergartens. Specifically, observations will be conducted on preschool or kindergartens in Okinawa Prefecture, Japan and the components of the Japan Adapted Classroom Observation (JACO) will be established through expert discussion and review. The validity and reliability of JACO will then be confirmed through the direct observation in these preschool/kindergarten. Although there are empirical observation tools for measuring teacher-student interactions in general classrooms, the standardization and validation of an observation

* 現所属：琉球大学教育学部

system in the Japanese education system is in need to provide a basis for the development of a consultation model. JACO will be the foundation for future teacher consultation in related to classroom management.

【Key words】 Teacher-student interaction, classroom, observation

問題と目的

教師と児童生徒の交流は、児童生徒の学業成績の向上 (Pianta, Belsky, Vandergrift, Houts, & Morrison, 2008; Curby, LoCasale-Crouch, 2009) と社会的情緒的能力の発達 (Luckner & Pianta, 2011; Mashburn et al, 2008) にポジティブな影響を与える。特に、就学前期の数年間は重要である。今の時代における教師と児童生徒の交流は、快適で安全な環境だけでなく、質の高い指導や行動支援となる。これまでの研究では、児童生徒の基本的なニーズから、1) 教師がどのようにして児童生徒との会話を開始し、表現を引き出し、対応するか、2) 教師がどのように教材や教室の物理的な環境を整理するか、3) 教師がどのようにして児童生徒を学習に関与させ、思考や探究心を刺激し続けるかの相互作用の質に焦点を移してきた。

20 年以上にわたり、教師と児童生徒の交流を研究しているバージニア大学の研究チームによると、教師と児童生徒の交流は、社会的情緒的支援、組織と管理の支援、指導的支援の 3 つの領域に分けられる (Hamre, Hatfield, Jamil, & Pianta, 2013)。第 1 に、情緒的支援とは、教師と児童生徒間の情緒的なつながりや、子どものニーズに対する教師の感受性のことを指す。第 2 に、教室の組織とは、時間・材料・生徒の行動・注意を管理することを指す。それは、教室の生産性をも伴う。教室の組織能力に優れた教師は、多くの場合、明確な行動の期待値を提供し、破壊的な行動の発生を防ぐことができる。第 3 に、指導支援とは、教師が児童生徒の思考力、問題解決力、推論力などの認知能力を刺激するという複雑な領域を指す。

研究者や政策立案者は、教師と児童生徒の交流の質を高めるために、どのように教師を支援すればよいのだろうか。一般的に、教師は観察後、校長や学区の管理者からフィードバックや評価を受けるが、評価の結果がどのように形成されるかは、教師の授業実践における成長に極めて重要である。研究者は、教師がデータに基づいた観察フィードバックを受けて、より良い教師と児童生徒の交流を促進するために効果的な教室実践に向けた行動変化を持つことを実証している (Allen, Pianta, Gregory, Mikami, & Lun, 2011; Reinke, Stormont, Herman, Wachsmuth & Newcomer, 2015)。その結果、児童生徒は、学力と社会的情動の発達にわたって、より望ましいパフォーマンスを発揮できる (Hamre, Justice, Pianta, Kilday, Sweeney, Downer, & Leach, 2010)。しかし、このような教師の行動に関する相談や専門的な開発モデルは、教室での教師－児童生徒の交流を評価するための有効かつ信頼性の高い観察測定なしには達成されない。標準化された有効な観察システムは、教師と児童生徒の交流の内容や、教師間、あるいは同じ教師の異なるセッション間の比較が一貫していることを確認する。また、教師に建設的なフィードバックを提供し、効果的な実践の使用で教師をサポートする。

教師が世界的に直面する傾向にある課題が、多様な文化を持つ児童と異なる能力レベルを持つ児童

が、同じ環境で学ぶことを促進することである。教師は、これらの児童を巻き込み、効果的な学級経営を行うことの難しさを報告している(大前, 2016; Reinke, Stormont, Herman, Puri & Goel, 2011)。過去 20 年間で、米国 (apbs.org)、カナダ (<https://pbisscpcanada.wordpress.com/>)、イギリス (<http://www.bild.org.uk/>) などの先進国における教育システムでは、全児童が成功できるように、学習・行動の個別支援において予防・介入の階層モデル(多層支援) (multi-tiered prevention model) とポジティブ行動支援 (positive behavior support) が重視されている。アジアでは、学校でのポジティブ行動支援を奨励し、基盤的な支援の実施を強調するために、多層的支援システムが注目され始めている。現在、台湾と日本の公立学校のみ、ポジティブ行動支援を推進する専門組織を正式に設立している (<https://www.apbs.org/networks>) がエビデンスベーストな基盤的介入を構築するためには、授業実践の構成要素を評価するための有効性のある尺度を構築することが不可欠である。日本では、学級経営で何が起るかを数値化し(寺坂, 2018)、収集したデータをどのように利用して教師の行動を変えるように促すかを研究し始めた研究者もいる(庭山, 2020)。しかし、そのような研究は、日本ではまだ一般的ではない。

教師－児童生徒の交流および効果的な授業実践は、基盤支援の一環として考えられている。日本における教師と児童生徒の交流に関する先行研究では、交流の質を示すために反動的な記述や評価尺度が用いられてきたが、これは進展的なモニタリングツールとしては、適切ではないと考えられる。前述したように、高い妥当性と信頼性を持つ系統的な観察こそが、教師と児童生徒の交流をより深く理解することに繋がる。これにより、研究者は教師－児童生徒の交流における交流の質や専門的な開発プログラムの有効性を比較することができるようになる。また、学校の校長や教育管理者が、教師の指導や教室の管理に一貫した建設的なフィードバックを提供するのにも役立つ。本研究では、幼稚園における教師－児童生徒の交流を検討するための観察指針を作成する。寺坂(2018)は、小学校の12教室を2週間観察し、学級経営に関わる教師の行動を5つのドメインに分類した。本研究では、寺坂(2018)が開発した観察コードを幼稚園・保育園に拡大する。加えて、児童の反応や行動も観察する。教師－児童生徒の交流を包括的かつ客観的な方法で検討した研究は、他に見られない。本研究で得られた知見と結果は、教員を支援する方向性を示し、今後の研究のためのデータ収集ツールとなることを期待している。

本研究の目的は、日本の幼稚園・保育園における教師－児童生徒の交流を捉えるための観察システムを開発することである。教師－児童生徒の交流を測定するための経験的な観察ツール (CLASS; Pianta, La Paro, & Hamre, 2008) はあるが、日本において、観察システムが標準化され、検証されることにより、コンサルテーションモデルの開発となる基礎を提供することが期待される。欧米の幼稚園の教室と日本の幼稚園の教室では、教師と児童生徒の交流が異なる。また、教師がどのように感情的なサポートをしているのか、あるいは破壊的行動をどのように管理しているのかは、欧米で開発された他の観察ツールで定義されているものとは異なっている可能性がある。さらに、観察指標は、今後の児童期の発達に関連した研究に、有効なツールとなることが期待できる。

方 法

参加対象

沖縄県内の未就学児または幼稚園・保育園において研究参加者を募集する。私立、公立のいずれかの学校を対象とする。ただし、指導活動を行っていない保育所は除外する。

内容

- Japan Adapted Classroom Observation (以後 JACO)の開発が本研究の主な目的である。Classroom Assessment Scoring System (CLASS, Pianta, La Paro, & Hamre, 2008)や Classroom Check-up (<https://www.classroomcheckup.org/>) や 寺坂 (2018) が開発した観察コードのような確立された観察システムを参考にする。また、子どもの特定の行動 (例えば、攻撃的な行動、破壊的な行動、または非参加的な行動) もコード化される。最初の 2 つの教室での 6 回の観察をすべて終えた後、専門家による議論とレビューを経て、JACO の構成要素を完成させる。その後、JACO の妥当性と信頼性を確立する。
- Classroom Ecology Checklist (以後 CEC)。CEC は厳格な翻訳プロセスを経る。CEC は観察終了直後記入する (Reinke & Lewis-Palmer, 2005)。CEC には、効果的な教室運営戦略と同様に、教室での教師の社会的-感情的戦略の使用をカバーする項目が含まれている。質問は 18 項目あり、以下の基準で学級を評価する。(1)社会的-情緒的学習、(2)学級での行動管理、(3)期待される指導、(4)積極的な監督、(5)生徒との積極的な交流。各項目の実施レベルを示すために 3 段階の尺度を用いた。CEC は、JACO の内容を検証するためのものである。

手続き

大学研究倫理委員会の承認を申請する。また、地元の新聞に広告を掲載する。市・村の教育委員会に、参加者の募集について通知し、校長または幼稚園や保育園の園長に募集要項を配布するよう協力を要請する。校長の許可を得て、興味のある教師にはインフォームド・コンセントを提供する。30 分間を 1 回のセッションとして各教室を 6 回 (つまり 6 セッション) 観察する。6 回のセッションは、連続した日に開催されることは想定されていない。観察内容とコードを確立するために、2 教室をパイロットとして観察する。また、観察コードを検討するために、独立した観察者を養成する。オブザーバー間協定(IOA)は 85%とする。

引用文献

- Allen J. P., Pianta R. C., Gregory A., Mikami A.Y., Lun J. (2011). An interaction-based approach to enhancing secondary school instruction and student achievement. *Journal of Science*, 333, 1034-1037.
- Classroom Check-up Coach Process (n.d.). *Classroom Check-Up: Support and Training in Effective*

- Classroom Management*. <https://www.classroomcheckup.org/coaches/>
- Hamre, B. K., Pianta, R. C., Downer, J. T., Decoster, J., Jones, S., Brown, J., Cappella, E., ... Kaefer, T. (2013). Teaching through interactions: testing a developmental framework of effective teaching in over 4,000 classrooms. *Elementary School Journal*, *113*, 461–487. doi: 10.1086/669616
- Hamre, L.B., Justice, R., Pianta, R. C., Kilday, B., Sweeney, J. T., Downer, J., Leach A.M. (2010). Implementation fidelity of MyTeachingPartner literacy and language activities: Association with preschoolers' language and literacy growth. *Journal of Early Childhood Research Quarterly*, *25*, 329-347.
- Luckner, A. E., & Pianta, R. C., (2011). Teacher–student interactions in fifth grade classrooms: Relations with children's peer behavior. *Journal of Applied Developmental Psychology*, *32*, 257-266.
- Mashburn, A. J., Pianta, R., Hamre, B. K., Downer, J. T., Barbarin, O., Bryant, D., ... Howes, C. (2008). Measures of classroom quality in pre-kindergarten and children's development of academic, language and social skills. *Child Development*, *79*, 732–749. doi:10.1111/j.1467-8624.2008.01154.x
- 庭山和貴 (2020) . 中学校における教師の言語賞賛の増加が生徒指導上の問題発生率に及ぼす効果—学年規模のポジティブ行動支援による問題行動予防—. 教育心理学研究 68, 79-93.
- 大前暁政 (2006). 現代の小学校における自立に導くことを意図した学級経営の困難性に関する研究. 臨床心理学部研究報告, 9, 49-67.
- Pianta, R. C., Belsky, J., Vandergrift, N., Houts, R., & Morrison, J. F. (2008). Classroom effects on children's achievement trajectories in elementary school. *Journal of American Educational Research*, *45*, 238-273.
- Pianta, R. C., La Paro, K. M., & Hamre, B. K. (2008). *The Classroom Assessment Scoring System manual, K-3*. Baltimore, MD: Brookes.
- Reinke W. M., Stormont, M., Herman, K. C., Wachsmuth, S., & Newcomer, L. (2015). The Brief Classroom Interaction Observation–Revised: An observation system to inform and increase teacher use of universal classroom management practices. *Journal of Positive Behavior Interventions*, *17*(3), 159-169.
- Reinke, W. M., & Lewis-Palmer, M. J. (2005). Providing teachers with performance feedback on praise to reduce student problem behavior, *Beyond Behavior*, *15*, 3-7.
- Reinke, W. M., Stormont, M., Herman, K. C., Puri, R., & Goel, N. (2011). Supporting children's mental health in schools: Teacher perceptions of needs, roles, and barriers. *School Psychology Quarterly*, *26*, 1–13.
- 寺坂朋子 (2018) . 小学校の通常学級における学級経営方略 : 教師による児童への働きかけの観察から. 大阪大学紀要, 66, 121 – 133.

Timothy W. C., LoCasale-Crouch, J., Timothy, R. (2009). The relations of observed pre-k classroom quality profiles to children's achievement and social competence. *Early Education and Development, 20*, 346-372.